

令和6年第1回 桑折町教育委員会定例会 会議録（要約）

1. 会議の概要

開催日時：令和6年1月25日（木）午後1時30分開会 午後2時25分閉会

場 所：桑折町役場 中会議室

出席者：教育長 会田智康、教育委員4名（柴田宣広、鈴木キヨ子、小野紀章、長谷富子）

欠席者：なし

事務局等出席者：教育文化課長 長谷部清治、副参事 佐藤克彦

書 記：主任主査兼こども教育係長 菅野健二

傍聴人：なし

2. 教育長あいさつ

能登半島地震への哀悼と、災害への備えを教育環境でも十分に留意していくこと。

令和5年度の成果と課題を振り返っていること。取り組みの成果として、小学校での授業改善、読み書き計算の徹底、反復の組織的取組があったと評価。

町民からの匿名メール「横断歩道で止まると、桑折町の小中学生はほとんどがお辞儀をしてくれ、とても誇らしい」という内容を紹介。

「人間としての基本」（感謝・礼儀）が身につけている成果として紹介し、校長へ子どもたちを褒めるよう依頼したことを説明。

3. 会議非公開の決定

議案第1号および議案第2号について、教育長から「個人情報を含むため、非公開で審議したい」との発言があり、委員に諮ったところ全員異議なく非公開とすることが決定された。

4. 報告事項

(1) 教育行政報告

長谷部教育文化課長から教育行政全般について報告が行われ、これに対する質疑はなかった。

(2) 桑折町小・中学校のあり方調査・研究委員会報告書について

長谷部教育文化課長から、前年に実施した「小・中学校のあり方調査・研究委員会」の報告書内容について説明があり、質疑応答が行われた。

柴田委員：学校のあり方を議論する委員会を設置するその前段として教育関係者だけで調査をしたものが今回の会議であり、今回がその結果報告という理解でよいかを確認。今年度の「あり方検討委員会」に、どの程度の期間（時間）をかける予定かを質問。

教育文化課長：そのとおりであり、現時点の予定として、3年間の中で対応を考え、取りまとめ・提言を行いたい、具体的な年次計画は未定と回答。

柴田委員：以前の「歴史文化エリアのあり方委員会」と同様に、提言を部局へ挙げ、予算や具体的な形を検討する流れかを確認。

教育文化課長：提言を踏まえ、教育委員会や町部局でも協議していくと説明。

柴田委員：歴史文化エリアは複数部局が関係したが、今回は教育委員会の所掌事項そのものであるため、教育委員会に対しての情報提供が必要であると要望。

教育長：資料28ページの「4 検討事項」(1)2つ目の丸にある、「複式学級が生じるなどの場合には、その対応について多面的・総合的な検討を進める」という、平成22年3月の教

育委員会議決が出発点であると説明。検討委員会での議論は、まず教育委員会での議論を踏まえて始めるべきであり、教育委員会から諮問するような形になるだろうと述べる。

検討委員会の運営（議論の内容・順序など）は事務局がプランを立てつつ、毎回教育委員会と相談しながら進めるべきであるが、学校の設置・廃止は教育委員会の権限だが、設置者は町であり、予算面で町の関与が大きいいため、町長と教育委員会の総合教育会議で繰り返し議論する必要があると説明。議論は、3年間を基本とするが、場合によっては回数を増やし2年間で取りまとめる可能性にも言及。

柴田委員：総合教育会議の場で、町から一方的にプランを示されてしまうと、教育委員会として意見が出しづらくなり、順序が逆であると言わざるを得ないので、その点を十分配慮してほしいと要望。

5. 議事

- (1) 議案第1号 令和6年度桑折町立小中学校児童生徒の入学決定について（非公開）
（非公開で審議し、全会一致で原案のとおり決定）
- (2) 議案第2号 令和6年度桑折町立幼稚園園児の入園決定について（非公開）
（非公開で審議し、全会一致で原案のとおり決定）

6. その他

- (1) 次回の定例会開催日程（予定）について
定例会 2月22日（木）午後1時30分 役場 中会議室
- (2) 今後の日程について
- (3) その他
 - ・ 卒業式における教育委員会告辞について
式時間短縮の観点から、告辞は書面配付とする方針を確認。